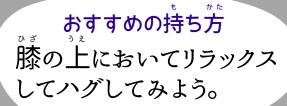


より舞台を楽しむための、

100 BEF-100

心切的可言



疲れたら、ボールを腕の 受えにして大丈夫! 少し凹んでも、荒に戻る のでご安心ください。

疲れたら、床に 置いてもOK



ボールの参加の仕方

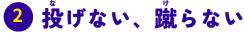
ボールは動かしたくなったら自由に動かして参加してね!

デジタルアートシートでは、光るボールをひざの企で抱えて舞台をお楽しみください。光るボールはあなたをイーハトーブの世界へ連れてゆく不思議な 旅のお供です。



सम्बं v Cautions

1 動かすときは周りや後ろの人に気を付けて





③ 他の席のボールと交換しない

4 客席から持ち出さない



5 ボールが転がらないように気をつけて



もっと たのしむ ための

Musical : the



舞台に登場する

宮沢臀治作品の紹介

●やまなし

小さな谷川の底に生きる、カニの親子の目線から見た情景を美 しく描いたお話です。

★どんぐりと山猫

猫からの不思議なはがきを受け取った少年・一郎が、「誰がいちばんえらいのか」と争うどんぐり達の裁判に臨むお話です。

なめとこ山の熊

猟師の淵沢小十郎は家族を養うために熊を撃ち、肝や毛皮を売って生きています。小十郎となめとこ山で生きる熊たちの関係を描いたお話です。

* **虔十公園林**

みんなに「少し足りない」と言われる青年・虔士が周囲に馬鹿にされながらも植えた杉林が、のちに子どもたちが遊ぶ立派な公園となるお話です。

() 鹿踊りのはじまり

湯治に向かう途中の百姓・嘉十が、忘れた手ぬぐいを取りに戻ると、そこに鹿たちが集まってきて、手ぬぐいを不思議そうに観察し、踊り始めます。

ご紹介した作品のほかにも宮沢賢治の作品に登場するオノマトペ(音や状態をあらわした言葉)がミュージカル曲の歌詞に登場します。 操してみてくださいね。